授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原理の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身につけることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員	○	
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己ＰＲができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務経験のある職員の講義	
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己ＰＲ作成①
	5	自己ＰＲ作成②
	6	自己ＰＲ作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論（基礎編）
	2	収益と費用①（基礎編）
	3	収益と費用②（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）
	6	現金預金（基礎編）
	7	債権・債務等①（基礎編）
	8	債権・債務等②（基礎編）
	9	有価証券①（基礎編）
	10	有価証券②（基礎編）
	11	有価証券③（基礎編）
	12	固定資産①（基礎編）
	13	固定資産②（基礎編）
	14	固定資産③（基礎編）
	15	固定資産④（基礎編）
	16	固定資産⑤（基礎編）
	17	固定資産⑥（基礎編）
	18	為替換算会計①（基礎編）
	19	為替換算会計②（基礎編）
	20	引当金①（基礎編）
	21	引当金②（基礎編）
	22	法人税等①（基礎編）
	23	法人税等②（基礎編）
	24	法人税等③（基礎編）
	25	法人税等④（基礎編）
	26	株式会社の純資産①（基礎編）
	27	株式会社の純資産②（基礎編）
	28	企業結合①（基礎編）
	29	企業結合②（基礎編）
	30	確認テスト
	31	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	32	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	33	株主資本等変動計算書③（基礎編）
	34	連結会計①（基礎編）
	35	連結会計②（基礎編）
	36	連結会計③（基礎編）
	37	連結会計④（基礎編）
	38	連結会計⑤（基礎編）
	39	連結会計⑥（基礎編）
	40	連結会計⑦（基礎編）
	41	連結会計⑧（基礎編）
	42	本支店会計①（基礎編）
	43	本支店会計②（基礎編）
	44	本支店会計③（基礎編）
	45	伝票と帳簿（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）
	10	工企業の財務諸表（基礎編）
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	16	総合原価計算の手続き（基礎編）
	17	単純総合原価計算（基礎編）
	18	減損および仕損（基礎編）
	19	工程別総合原価計算（基礎編）
	20	組別総合原価計算（基礎編）
	21	等級別総合原価計算（基礎編）
	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）
	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）
	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）
	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）
	28	直接原価計算（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	１２０時間	
授業回数	６０回	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	16	商業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	17	商業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	18	商業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	19	商業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	20	商業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	21	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	22	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	23	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	24	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）
	26	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）
	27	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）
	28	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）
	30	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）
	31	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	32	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	33	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	34	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	35	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	36	工業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	37	工業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	38	工業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	39	工業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	40	工業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	41	総合問題演習①（テスト形式）
	42	総合問題演習②（テスト形式）
	43	総合問題演習③（テスト形式）
	44	総合問題演習④（テスト形式）
	45	総合問題演習⑤（テスト形式）
	46	総合問題演習⑥（テスト形式）
	47	総合問題演習⑦（テスト形式）
	48	総合問題演習⑧（テスト形式）
	49	総合問題演習⑨（テスト形式）
	50	総合問題演習⑩（テスト形式）
	51	総合問題演習⑪（テスト形式）
	52	総合問題演習⑫（テスト形式）
	53	総合問題演習⑬（テスト形式）
	54	総合問題演習⑭（テスト形式）
	55	総合問題演習⑮（テスト形式）
	56	総合問題演習⑯（テスト形式）
	57	総合問題演習⑰（テスト形式）
	58	総合問題演習⑱（テスト形式）
	59	総合問題演習⑲（テスト形式）
	60	総合問題演習⑳（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	１年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業回数	３０回
授業概要	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	簿記の概要Ⅰ①（初歩編）	31	
2	簿記の概要Ⅰ②（初歩編）	32	
3	現金預金Ⅰ①（初歩編）	33	
4	現金預金Ⅰ②（初歩編）	34	
5	債権債務Ⅰ①（初歩編）	35	
6	債権債務Ⅰ②（初歩編）	36	
7	商品売買Ⅰ①（初歩編）	37	
8	商品売買Ⅰ②（初歩編）	38	
9	給料等Ⅰ①（初歩編）	39	
10	給料等Ⅰ②（初歩編）	40	
11	固定資産Ⅰ①（初歩編）	41	
12	固定資産Ⅰ②（初歩編）	42	
13	固定資産Ⅰ③（初歩編）	43	
14	固定資産Ⅰ④（初歩編）	44	
15	固定資産Ⅰ⑤（初歩編）	45	
16	固定資産Ⅰ⑥（初歩編）	46	
17	ソフトウェアⅠ①（初歩編）	47	
18	ソフトウェアⅠ②（初歩編）	48	
19	債権債務Ⅰ①（初歩編）	49	
20	債権債務Ⅰ②（初歩編）	50	
21	貸倒れⅠ①（初歩編）	51	
22	貸倒れⅠ②（初歩編）	52	
23	退職給付会計Ⅰ①（初歩編）	53	
24	退職給付会計Ⅰ②（初歩編）	54	
25	退職給付会計Ⅰ③（初歩編）	55	
26	退職給付会計Ⅰ④（初歩編）	56	
27	退職給付会計Ⅰ⑤（初歩編）	57	
28	退職給付会計Ⅰ⑥（初歩編）	58	
29	税金Ⅰ①（初歩編）	59	
30	税金Ⅰ②（初歩編）	60	

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	１年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業回数	３０回
授業概要	会計学、会計基準の初歩的な概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	ガイダンス・財務諸表の基礎（初歩）	31	
2	個別注記表（初歩）	32	
3	現金及び預金（初歩）	33	
4	債権債務（初歩）	34	
5	関係会社概念（初歩）	35	
6	売上原価の算定（初歩）	36	
7	貸倒れ（初歩）	37	
8	給料等（初歩）	38	
9	その他の引当金（初歩）	39	
10	退職給付会計（初歩）	40	
11	有形固定資産（初歩）	41	
12	無形固定資産（初歩）	42	
13	株主資本（初歩）	43	
14	ソフトウェア（初歩）	44	
15	法人税等・追徴還付（初歩）	45	
16	外形基準、租税公課（初歩）	46	
17	源泉所得税、社会保険料（初歩）	47	
18	財務諸表論の基礎概念①（初歩）	48	
19	財務諸表論の基礎概念②（初歩）	49	
20	財務諸表論の基礎概念③（初歩）	50	
21	財務諸表論の基礎概念④（初歩）	51	
22	財務諸表論の基礎概念⑤（初歩）	52	
23	企業会計原則（一般原則）①（初歩）	53	
24	企業会計原則（一般原則）②（初歩）	54	
25	企業会計原則（一般原則）③（初歩）	55	
26	企業会計原則（一般原則）④（初歩）	56	
27	企業会計原則（一般原則）⑤（初歩）	57	
28	企業会計原則（一般原則）⑥（初歩）	58	
29	企業会計原則（一般原則）⑦（初歩）	59	
30	企業会計原則（一般原則）⑧（初歩）	60	

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	１年次
開講区分	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	オリジナルテキスト	31	社債Ⅰ①（入門編）
2	固定資産Ⅰ②（入門編）	32	社債Ⅰ②（入門編）
3	固定資産Ⅰ③（入門編）	33	社債Ⅰ③（入門編）
4	固定資産Ⅰ④（入門編）	34	社債Ⅰ④（入門編）
5	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	35	社債Ⅰ⑤（入門編）
6	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	36	社債Ⅰ⑥（入門編）
7	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
8	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
9	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
10	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
11	ソフトウェアⅠ①（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
12	ソフトウェアⅠ②（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
13	債権債務Ⅰ①（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
14	債権債務Ⅰ②（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
15	債権債務Ⅰ③（入門編）	45	確認テスト
16	貸倒れⅠ①（入門編）		
17	貸倒れⅠ②（入門編）		
18	貸倒れⅠ③（入門編）		
19	退職給付会計Ⅰ①（入門編）		
20	退職給付会計Ⅰ②（入門編）		
21	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		
22	退職給付会計Ⅰ④（入門編）		
23	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）		
24	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）		
25	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）		
26	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）		
27	税金Ⅰ①（入門編）		
28	税金Ⅰ②（入門編）		
29	税金Ⅰ③（入門編）		
30	税金Ⅰ④（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	１年次
開講区分	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	売買目的有価証券（入門）	31	ゴルフ会員権（入門）
	2	満期保有目的の債券（入門）	32	売価還元法（入門）
	3	子会社株式・関連会社株式（入門）	33	製造業会計（入門）
	4	その他有価証券（入門）	34	研究開発費（入門）
	5	ソフトウェア（入門）	35	新株予約権（入門）
	6	法人税等・追徴還付（入門）	36	キャッシュ・フロー計算書（入門）
	7	現在価値計算（入門）	37	損益計算書総論（入門）
	8	社債（入門）	38	貸借対照表総論（入門）
	9	利益剰余金（入門）	39	資産総論（入門）
	10	自己株式（入門）	40	棚卸資産に関する会計基準（入門）
	11	配当（入門）	41	連続意見書（入門）
	12	外形基準、租税公課（入門）	42	引当金（入門）
	13	源泉所得税、社会保険料（入門）	43	会計観（入門）
	14	税効果会計（入門）	44	金融商品（入門）
	15	税効果注記（入門）	45	確認テスト(理論)
	16	源泉所得税、社会保険料（入門）		
	17	株主資本等変動計算書（入門）		
	18	減損会計（入門）		
	19	配当を受けた株主の処理（入門）		
	20	圧縮記帳（入門）		
	21	外貨建取引（入門）		
	22	退職給付会計簡便法（入門）		
	23	繰延資産（入門）		
	24	為替予約（入門）		
	25	仕入・売上げの計上基準（入門）		
	26	消費税等（入門）		
	27	他勘定振替（入門）		
	28	外貨建有価証券（入門）		
	29	リース会計（入門）		
	30	証券投資信託（入門）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	１年次
開講区分	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ①（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
2	税効果会計Ⅰ②（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
3	税効果会計Ⅰ③（入門編）	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
4	税効果会計Ⅰ④（入門編）	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
5	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
6	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
7	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
8	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
9	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
12	保険金Ⅰ①（入門編）	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
13	保険金Ⅰ②（入門編）	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
14	保険金Ⅰ③（入門編）	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
21	減損会計Ⅰ①（入門編）	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
22	減損会計Ⅰ②（入門編）	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
23	減損会計Ⅰ③（入門編）	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
24	減損会計Ⅰ④（入門編）	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	１年次
開講区分	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	31	純資産会計①（入門）
2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	32	純資産会計②（入門）
3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	33	純資産会計③（入門）
4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	34	純資産会計④（入門）
5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）	35	純資産会計⑤（入門）
6	分配可能額①（入門）	36	企業結合会計①（入門）
7	分配可能額②（入門）	37	企業結合会計②（入門）
8	分配可能額③（入門）	38	企業結合会計③（入門）
9	分配可能額④（入門）	39	企業結合会計④（入門）
10	分配可能額⑤（入門）	40	企業結合会計⑤（入門）
11	ストック・オプション①（入門）	41	事業分離会計①（入門）
12	ストック・オプション②（入門）	42	事業分離会計②（入門）
13	ストック・オプション③（入門）	43	事業分離会計③（入門）
14	ストック・オプション④（入門）	44	事業分離会計④（入門）
15	ストック・オプション⑤（入門）	45	事業分離会計⑤（入門）
16	セール＆リースバック①（入門）	46	四半期財務諸表①（入門）
17	セール＆リースバック②（入門）	47	四半期財務諸表②（入門）
18	セール＆リースバック③（入門）	48	四半期財務諸表③（入門）
19	セール＆リースバック④（入門）	49	四半期財務諸表④（入門）
20	セール＆リースバック⑤（入門）	50	四半期財務諸表⑤（入門）
21	財務諸表等規則①（入門）	51	ヘッジ会計①（入門）
22	財務諸表等規則②（入門）	52	ヘッジ会計②（入門）
23	財務諸表等規則③（入門）	53	ヘッジ会計③（入門）
24	財務諸表等規則④（入門）	54	ヘッジ会計④（入門）
25	財務諸表等規則⑤（入門）	55	ヘッジ会計⑤（入門）
26	負債①（入門）	56	包括利益①（入門）
27	負債②（入門）	57	包括利益②（入門）
28	負債③（入門）	58	包括利益③（入門）
29	負債④（入門）	59	包括利益④（入門）
30	負債⑤（入門）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	後期	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	経理実務で必要となる業務内容の概要を体系的に学び、帳票書類についての知識の基礎を習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	実務家教員･･･経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務	
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム（基礎）
	2	小切手・手形の実務上のポイント（基礎）
	3	入出金伝票と現金出納帳（基礎）
	4	当座預金出納帳と手形記入帳（基礎）
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分（基礎）
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（基礎）
	7	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務（基礎）
	8	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎①）
	9	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎②）
	10	個人住民税の徴収及び納付（基礎）
	11	印紙税の基礎知識（基礎）
	12	受取利息の会計処理（基礎）
	13	消費税法の概要（基礎）
	14	消費税の会計処理（基礎）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員	○	
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務経験のある職員の講義	
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①(入門編)
	2	本支店会計Ⅰ②(入門編)
	3	本支店会計Ⅰ③(入門編)
	4	本支店会計Ⅰ④(入門編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(入門編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(入門編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(入門編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(入門編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(入門編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(入門編)
	11	建設業会計Ⅰ①(入門編)
	12	建設業会計Ⅰ②(入門編)
	13	連結会計Ⅰ①(入門編)
	14	連結会計Ⅰ②(入門編)
	15	連結会計Ⅰ③(入門編)
	16	連結会計Ⅰ④(入門編)
	17	製造業会計Ⅰ①(入門編)
	18	製造業会計Ⅰ②(入門編)
	19	製造業会計Ⅰ③(入門編)
	20	製造業会計Ⅰ④(入門編)
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(入門編)
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(入門編)
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(入門編)
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(入門編)
	25	繰延資産Ⅰ①(入門編)
	26	繰延資産Ⅰ②(入門編)
	27	圧縮記帳Ⅰ①(入門編)
	28	圧縮記帳Ⅰ②(入門編)
	29	ストック・オプションⅠ(入門編)
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金利スワップ①(入門)
	2	金利スワップ②(入門)
	3	金利スワップ③(入門)
	4	金利スワップ④(入門)
	5	金利スワップ⑤(入門)
	6	資産及び負債の貸借対照表能力①(入門)
	7	資産及び負債の貸借対照表能力②(入門)
	8	資産及び負債の貸借対照表能力③(入門)
	9	資産及び負債の貸借対照表能力④(入門)
	10	資産及び負債の貸借対照表能力⑤(入門)
	11	投資のリスクからの解放①(入門)
	12	投資のリスクからの解放②(入門)
	13	投資のリスクからの解放③(入門)
	14	投資のリスクからの解放④(入門)
	15	投資のリスクからの解放⑤(入門)
	16	配分と評価①(入門)
	17	配分と評価②(入門)
	18	配分と評価③(入門)
	19	配分と評価④(入門)
	20	配分と評価⑤(入門)
	21	収益認識①(入門)
	22	収益認識②(入門)
	23	収益認識③(入門)
	24	収益認識④(入門)
	25	収益認識⑤(入門)
	26	組織再①(入門)
	27	組織再②(入門)
	28	組織再③(入門)
	29	組織再④(入門)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	１８０時間
授業回数	９０回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	現金預金Ⅱ①(入門編)	46	項目別答練②(入門編)
2	債権債務Ⅱ①(入門編)	47	項目別答練③(入門編)
3	商品売買Ⅱ①(入門編)	48	項目別答練④(入門編)
4	商品売買Ⅱ②(入門編)	49	項目別答練⑤(入門編)
5	商品売買Ⅱ③(入門編)	50	項目別答練⑥(入門編)
6	固定資産Ⅱ①(入門編)	51	基礎答練①(入門編)
7	固定資産Ⅱ②(入門編)	52	基礎答練②(入門編)
8	固定資産Ⅱ③(入門編)	53	基礎答練③(入門編)
9	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	54	基礎答練④(入門編)
10	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	55	基礎答練⑤(入門編)
11	退職給付会計Ⅱ③(入門編)	56	基礎答練⑥(入門編)
12	債権債務Ⅱ①(入門編)	57	基礎答練⑦(入門編)
13	債権債務Ⅱ②(入門編)	58	基礎答練⑧(入門編)
14	税金Ⅱ①(入門編)	59	基礎答練⑨(入門編)
15	社債Ⅱ①(入門編)	60	基礎答練⑩(入門編)
16	社債Ⅱ②(入門編)	61	応用答練①(入門編)
17	社債Ⅱ③(入門編)	62	応用答練②(入門編)
18	純資産会計Ⅱ①(入門編)	63	応用答練③(入門編)
19	純資産会計Ⅱ②(入門編)	64	応用答練④(入門編)
20	純資産会計Ⅱ③(入門編)	65	応用答練⑤(入門編)
21	有価証券Ⅱ①(入門編)	66	応用答練⑥(入門編)
22	有価証券Ⅱ②(入門編)	67	応用答練⑦(入門編)
23	有価証券Ⅱ③(入門編)	68	応用答練⑧(入門編)
24	外貨建会計Ⅱ①(入門編)	69	応用答練⑨(入門編)
25	外貨建会計Ⅱ②(入門編)	70	応用答練⑩(入門編)
26	リース会計Ⅱ①(入門編)	71	過去問演習①(入門編)
27	リース会計Ⅱ②(入門編)	72	過去問演習②(入門編)
28	試用販売Ⅱ①(入門編)	73	過去問演習③(入門編)
29	試用販売Ⅱ②(入門編)	74	過去問演習④(入門編)
30	割賦販売Ⅱ①(入門編)	75	過去問演習⑤(入門編)
31	割賦販売Ⅱ②(入門編)	76	過去問演習⑥(入門編)
32	割賦販売Ⅱ③(入門編)	77	過去問演習⑦(入門編)
33	未着品販売Ⅱ①(入門編)	78	過去問演習⑧(入門編)
34	未着品販売Ⅱ②(入門編)	79	過去問演習⑨(入門編)
35	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)	80	過去問演習⑩(入門編)
36	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)	81	問題演習実践①(入門編)
37	本支店会計Ⅱ①(入門編)	82	問題演習実践②(入門編)
38	本支店会計Ⅱ②(入門編)	83	問題演習実践③(入門編)
39	組織再編会計Ⅱ①(入門編)	84	問題演習実践④(入門編)
40	組織再編会計Ⅱ②(入門編)	85	問題演習実践⑤(入門編)
41	連結会計Ⅱ①(入門編)	86	問題演習実践⑥(入門編)
42	連結会計Ⅱ②(入門編)	87	問題演習実践⑦(入門編)
43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践⑧(入門編)
44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践⑨(入門編)
45	項目別答練①(入門編)	90	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間
授業回数	９０回
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	財務諸表論総まとめ①(入門)	46	総合問題対策③(入門)
	2	財務諸表論総まとめ①(入門)	47	総合問題対策④(入門)
	3	財務諸表論総まとめ②(入門)	48	総合問題対策④(入門)
	4	財務諸表論総まとめ②(入門)	49	総合問題対策⑤(入門)
	5	財務諸表論総まとめ③(入門)	50	総合問題対策⑤(入門)
	6	財務諸表論総まとめ③(入門)	51	総合問題対策⑥(入門)
	7	財務諸表論総まとめ④(入門)	52	総合問題対策⑥(入門)
	8	財務諸表論総まとめ④(入門)	53	総合問題対策⑦(入門)
	9	財務諸表論総まとめ⑤(入門)	54	総合問題対策⑦(入門)
	10	財務諸表論総まとめ⑤(入門)	55	総合問題対策⑧(入門)
	11	財務諸表論総まとめ⑥(入門)	56	総合問題対策⑧(入門)
	12	財務諸表論総まとめ⑥(入門)	57	総合問題対策⑨(入門)
	13	財務諸表論総まとめ⑦(入門)	58	総合問題対策⑨(入門)
	14	財務諸表論総まとめ⑦(入門)	59	総合問題対策⑩(入門)
	15	財務諸表論総まとめ⑧(入門)	60	総合問題対策⑩(入門)
	16	財務諸表論総まとめ⑧(入門)	61	総合問題対策⑪(入門)
	17	財務諸表論総まとめ⑨(入門)	62	総合問題対策⑪(入門)
	18	財務諸表論総まとめ⑨(入門)	63	総合問題対策⑫(入門)
	19	財務諸表論総まとめ⑩(入門)	64	総合問題対策⑫(入門)
	20	財務諸表論総まとめ⑩(入門)	65	総合問題対策⑬(入門)
	21	財務諸表論総まとめ⑪(入門)	66	総合問題対策⑬(入門)
	22	財務諸表論総まとめ⑪(入門)	67	総合問題対策⑭(入門)
	23	財務諸表論総まとめ⑫(入門)	68	総合問題対策⑭(入門)
	24	財務諸表論総まとめ⑫(入門)	69	総合問題対策⑮(入門)
	25	財務諸表論総まとめ⑬(入門)	70	総合問題対策⑮(入門)
	26	財務諸表論総まとめ⑬(入門)	71	総合問題対策⑯(入門)
	27	財務諸表論総まとめ⑭(入門)	72	総合問題対策⑯(入門)
	28	財務諸表論総まとめ⑭(入門)	73	総合問題対策⑰(入門)
	29	財務諸表論総まとめ⑮(入門)	74	総合問題対策⑰(入門)
	30	財務諸表論総まとめ⑮(入門)	75	総合問題対策⑱(入門)
	31	財務諸表論総まとめ⑯(入門)	76	総合問題対策⑱(入門)
	32	財務諸表論総まとめ⑯(入門)	77	総合問題対策⑲(入門)
	33	財務諸表論総まとめ⑰(入門)	78	総合問題対策⑲(入門)
	34	財務諸表論総まとめ⑰(入門)	79	総合問題対策⑳(入門)
	35	財務諸表論総まとめ⑱(入門)	80	総合問題対策⑳(入門)
	36	財務諸表論総まとめ⑱(入門)	81	総合問題対策㉑(入門)
	37	財務諸表論総まとめ⑲(入門)	82	総合問題対策㉑(入門)
	38	財務諸表論総まとめ⑲(入門)	83	総合問題対策㉒(入門)
	39	財務諸表論総まとめ⑳(入門)	84	総合問題対策㉒(入門)
	40	財務諸表論総まとめ⑳(入門)	85	総合問題対策㉓(入門)
	41	総合問題対策①(入門)	86	総合問題対策㉓(入門)
	42	総合問題対策①(入門)	87	総合問題対策㉔(入門)
	43	総合問題対策②(入門)	88	総合問題対策㉔(入門)
	44	総合問題対策②(入門)	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策③(入門)	90	模擬試験(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験(理論)100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**簿記の概要Ⅰ①(基礎編)**
	2	**簿記の概要Ⅰ②(基礎編)**
	3	**簿記の概要Ⅰ③(基礎編)**
	4	**簿記の概要Ⅰ④(基礎編)**
	5	**現金預金Ⅰ①(基礎編)**
	6	**現金預金Ⅰ②(基礎編)**
	7	**現金預金Ⅰ③(基礎編)**
	8	**債権債務Ⅰ①(基礎編)**
	9	**債権債務Ⅰ②(基礎編)**
	10	**商品売買Ⅰ①(基礎編)**
	11	**商品売買Ⅰ②(基礎編)**
	12	**商品売買Ⅰ③(基礎編)**
	13	**給料等Ⅰ①(基礎編)**
	14	**給料等Ⅰ②(基礎編)**
	15	**確認テスト**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会計学の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス･財務諸表の基礎（基礎）**
	2	**個別注記表（基礎）**
	3	**現金及び預金（基礎）**
	4	**債権債務（基礎）**
	5	**関係会社概念（基礎）**
	6	**売上原価の算定（基礎）**
	7	**貸倒れ（基礎）**
	8	**給料等（基礎）**
	9	**その他の引当金（基礎）**
	10	**退職給付会計（基礎）**
	11	**有形固定資産（基礎）**
	12	**無形固定資産（基礎）**
	13	**株主資本（基礎）**
	14	**財務諸表論の基礎概念（基礎）**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％(理論)　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス**
	2	**課税の対象①(初級編)**
	3	**課税の対象②(初級編)**
	4	**課税の対象③(初級編)**
	5	**課税の対象④(初級編)**
	6	**非課税①(初級編)**
	7	**非課税②(初級編)**
	8	**非課税③(初級編)**
	9	**非課税④(初級編)**
	10	**輸出免税等①(初級編)**
	11	**輸出免税等②(初級編)**
	12	**輸出免税等③(初級編)**
	13	**輸出免税等④(初級編)**
	14	**資産の譲渡等の時期(初級編)**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（基礎）
	3	相続税法と民法（基礎）
	4	相続人、代襲相続（基礎）
	5	養子の子の取扱い（基礎）
	6	相続の承認と放棄（基礎）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎）
	8	遺言による財産の取得（基礎）
	9	相続税の納税義務者（基礎）
	10	生命保険金等（基礎）
	11	相続税の非課税財産（基礎）
	12	相続税額の計算方法（基礎）
	13	生命保険金等の非課税金額（基礎）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス（中級）**
	2	**納税義務者（中級）**
	3	**課税所得の範囲（中級）**
	4	**交際費等の損金不算入Ⅰ（中級）**
	5	**減価償却Ⅰ（中級）**
	6	**減価償却Ⅱ（中級）**
	7	**減価償却Ⅲ（中級）**
	8	**受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級）**
	9	**寄附金の損金不算入Ⅰ（中級）**
	10	**租税公課等（中級）**
	11	**納税充当金Ⅰ（中級）**
	12	**納税充当金Ⅱ（中級）**
	13	**別表四の作成（中級）**
	14	**事業年度（中級）**
	15	**確認テスト（理論）**
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択必須
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ①(基礎編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(基礎編)
2	税効果会計Ⅰ②(基礎編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(基礎編)
3	税効果会計Ⅰ③(基礎編)	33	リース会計Ⅰ①(基礎編)
4	税効果会計Ⅰ④(基礎編)	34	リース会計Ⅰ②(基礎編)
5	税効果会計Ⅰ⑤(基礎編)	35	リース会計Ⅰ③(基礎編)
6	税効果会計Ⅰ⑥(基礎編)	36	リース会計Ⅰ④(基礎編)
7	税効果会計Ⅰ⑦(基礎編)	37	リース会計Ⅰ⑤(基礎編)
8	税効果会計Ⅰ⑧(基礎編)	38	リース会計Ⅰ⑥(基礎編)
9	現在価値計算Ⅰ①(基礎編)	39	試用販売Ⅰ①(基礎編)
10	現在価値計算Ⅰ②(基礎編)	40	試用販売Ⅰ②(基礎編)
11	現在価値計算Ⅰ③(基礎編)	41	試用販売Ⅰ③(基礎編)
12	保険金Ⅰ①(基礎編)	42	試用販売Ⅰ④(基礎編)
13	保険金Ⅰ②(基礎編)	43	試用販売Ⅰ⑤(基礎編)
14	保険金Ⅰ③(基礎編)	44	試用販売Ⅰ⑥(基礎編)
15	新株予約権付社債Ⅰ①(基礎編)	45	割賦販売Ⅰ①(基礎編)
16	新株予約権付社債Ⅰ②(基礎編)	46	割賦販売Ⅰ②(基礎編)
17	新株予約権付社債Ⅰ③(基礎編)	47	割賦販売Ⅰ③(基礎編)
18	新株予約権付社債Ⅰ④(基礎編)	48	割賦販売Ⅰ④(基礎編)
19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(基礎編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(基礎編)
20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(基礎編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(基礎編)
21	減損会計Ⅰ①(基礎編)	51	未着品販売Ⅰ①(基礎編)
22	減損会計Ⅰ②(基礎編)	52	未着品販売Ⅰ②(基礎編)
23	減損会計Ⅰ③(基礎編)	53	未着品販売Ⅰ③(基礎編)
24	減損会計Ⅰ④(基礎編)	54	未着品販売Ⅰ④(基礎編)
25	資産除去債務Ⅰ①(基礎編)	55	委託販売･受託販売Ⅰ①(基礎編)
26	資産除去債務Ⅰ②(基礎編)	56	委託販売･受託販売Ⅰ②(基礎編)
27	外貨建会計Ⅰ①(基礎編)	57	委託販売･受託販売Ⅰ③(基礎編)
28	外貨建会計Ⅰ②(基礎編)	58	委託販売･受託販売Ⅰ④(基礎編)
29	外貨建会計Ⅰ③(基礎編)	59	委託販売･受託販売Ⅰ⑤(基礎編)
30	外貨建会計Ⅰ④(基礎編)	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択必須
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	売買目的有価証券(基礎)	31	ゴルフ会員権(基礎)
	2	満期保有目的の債券(基礎)	32	売価還元法(基礎)
	3	子会社株式･関連会社株式(基礎)	33	製造業会計(基礎)
	4	その他有価証券(基礎)	34	研究開発費(基礎)
	5	ソフトウェア(基礎)	35	新株予約権(基礎)
	6	法人税等･追徴還付(基礎)	36	キャッシュ･フロー計算書(基礎)
	7	現在価値計算(基礎)	37	損益計算書総論(基礎)
	8	社債(基礎)	38	貸借対照表総論(基礎)
	9	利益剰余金(基礎)	39	資産総論(基礎)
	10	自己株式(基礎)	40	棚卸資産に関する会計基準(基礎)
	11	配当(基礎)	41	連続意見書(基礎)
	12	外形基準、租税公課(基礎)	42	引当金(基礎)
	13	源泉所得税、社会保険料(基礎)	43	会計観(基礎)
	14	税効果会計(基礎)	44	金融商品(基礎)
	15	税効果注記(基礎)	45	純資産会計①(基礎)
	16	源泉所得税、社会保険料(基礎)	46	純資産会計②(基礎)
	17	株主資本等変動計算書(基礎)	47	純資産会計③(基礎)
	18	減損会計(基礎)	48	純資産会計④(基礎)
	19	配当を受けた株主の処理(基礎)	49	純資産会計⑤(基礎)
	20	圧縮記帳(基礎)	50	企業結合会計①(基礎)
	21	外貨建取引(基礎)	51	企業結合会計②(基礎)
	22	退職給付会計簡便法(基礎)	52	企業結合会計③(基礎)
	23	繰延資産(基礎)	53	企業結合会計④(基礎)
	24	為替予約(基礎)	54	企業結合会計⑤(基礎)
	25	仕入･売上げの計上基準(基礎)	55	事業分離会計①(基礎)
	26	消費税等(基礎)	56	事業分離会計②(基礎)
	27	他勘定振替(基礎)	57	事業分離会計③(基礎)
	28	外貨建有価証券(基礎)	58	事業分離会計④(基礎)
	29	リース会計(基礎)	59	事業分離会計⑤(基礎)
	30	証券投資信託(基礎)	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択必須
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	控除対象仕入税額①(初級編)	31	納税義務の免除①(初級編)
2	控除対象仕入税額②(初級編)	32	納税義務の免除②(初級編)
3	控除対象仕入税額③(初級編)	33	納税義務の免除③(初級編)
4	控除対象仕入税額④(初級編)	34	納税義務の免除④(初級編)
5	控除対象仕入税額⑤(初級編)	35	納税義務の免除⑤(初級編)
6	控除対象仕入税額⑥(初級編)	36	国境を越えた役務の提供①(初級編)
7	売上げに係る対価の返還等①(初級編)	37	国境を越えた役務の提供②(初級編)
8	売上げに係る対価の返還等②(初級編)	38	国境を越えた役務の提供③(初級編)
9	貸倒れが生じた場合①(初級編)	39	国境を越えた役務の提供④(初級編)
10	貸倒れが生じた場合②(初級編)	40	国境を越えた役務の提供⑤(初級編)
11	課税仕入れの範囲①(初級編)	41	中間申告に係る納付税額の計算①(初級編)
12	課税仕入れの範囲②(初級編)	42	中間申告に係る納付税額の計算②(初級編)
13	課税仕入れの範囲③(初級編)	43	課税仕入れ等の分類①(初級編)
14	課税仕入れの範囲④(初級編)	44	課税仕入れ等の分類②(初級編)
15	課税仕入れ等の時期①(初級編)	45	課税仕入れ等の分類③(初級編)
16	課税仕入れ等の時期②(初級編)	46	課税仕入れ等の分類④(初級編)
17	課税仕入れ等の時期③(初級編)	47	課税仕入れ等の分類⑤(初級編)
18	課税仕入れ等の時期④(初級編)	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①(初級編)
19	課税売上割合①(初級編)	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②(初級編)
20	課税売上割合②(初級編)	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③(初級編)
21	課税売上割合③(初級編)	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
22	課税売上割合④(初級編)	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
23	課税売上割合⑤(初級編)	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)
24	課税売上割合⑥(初級編)	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)
25	課税期間における課税売上高①(初級編)	55	納税義務の免除の特例①(初級編)
26	課税期間における課税売上高②(初級編)	56	納税義務の免除の特例②(初級編)
27	課税売上割合に準ずる割合①(初級編)	57	納税義務の免除の特例③(初級編)
28	課税売上割合に準ずる割合②(初級編)	58	納税義務の免除の特例④(初級編)
29	仕入れに係る対価の返還等①(初級編)	59	納税義務の免除の特例⑤(初級編)
30	仕入れに係る対価の返還等②(初級編)	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択必須
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

	1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額①（基礎）
	2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額②（基礎）
	3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額③（基礎）
	4	相続時精算課税適用財産（基礎）等	34	小規模宅地等の減額④（基礎）
	5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額⑤（基礎）
	6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額⑥（基礎）
	7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト③(理論)
	8	確認テスト①(理論)	38	取引相場のない株式①（基礎）
	9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式②（基礎）
	10	特定納税義務者の債務控除（基礎）等	40	取引相場のない株式③（基礎）
	11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式④（基礎）
	12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式⑤（基礎）
	13	自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式⑥（基礎）
	14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式⑦（基礎）
	15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式⑧（基礎）
	16	法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎）	46	取引相場のない株式⑨（基礎）
	17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式⑩（基礎）
	18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式⑪（基礎）
	19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式⑫（基礎）
	20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）等	50	取引相場のない株式⑬（基礎）
	21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
	22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
	23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
	24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
	25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
	26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
	27	確認テスト②(理論)	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
	28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
	29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
	30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト④(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）　４回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択必須
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	貸倒損失Ⅰ(基礎)	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ(基礎)
2	貸倒損失Ⅱ(基礎)	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ(基礎)
3	貸倒引当金Ⅰ(基礎)	33	みなし配当金Ⅰ(基礎)
4	貸倒引当金Ⅱ(基礎)	34	みなし配当金Ⅱ(基礎)
5	欠損金Ⅰ(基礎)	35	資本等取引Ⅰ(基礎)
6	欠損金Ⅱ(基礎)	36	資本等取引Ⅱ(基礎)
7	外貨建取引Ⅰ(基礎)	37	交換差益Ⅰ(基礎)
8	外貨建取引Ⅱ(基礎)	38	交換差益Ⅱ(基礎)
9	有価証券Ⅰ(基礎)	39	交換差益Ⅲ(基礎)
10	有価証券Ⅱ(基礎)	40	別表五㈡Ⅰ(基礎)
11	収用等Ⅰ(基礎)	41	別表五㈡Ⅱ(基礎)
12	収用等Ⅱ(基礎)	42	別表五㈡Ⅲ(基礎)
13	所得税額控除Ⅰ(基礎)	43	別表五㈡Ⅳ(基礎)
14	所得税額控除Ⅱ(基礎)	44	リース取引Ⅰ(基礎)
15	国庫補助金等Ⅰ(基礎)	45	リース取引Ⅱ(基礎)
16	国庫補助金等Ⅱ(基礎)	46	リース取引Ⅲ(基礎)
17	別表五㈠の作成Ⅰ(基礎)	47	リース取引Ⅳ(基礎)
18	別表五㈠の作成Ⅱ(基礎)	48	繰延資産Ⅰ(基礎)
19	圧縮記帳Ⅰ(基礎)	49	繰延資産Ⅱ(基礎)
20	圧縮記帳Ⅱ(基礎)	50	繰延資産Ⅲ(基礎)
21	役員判定Ⅰ(基礎)	51	繰延資産Ⅳ(基礎)
22	役員判定Ⅱ(基礎)	52	確定決算型Ⅰ(基礎)
23	役員給与Ⅰ(基礎)	53	確定決算型Ⅱ(基礎)
24	役員給与Ⅱ(基礎)	54	確定決算型Ⅲ(基礎)
25	使用人給与Ⅰ(基礎)	55	確定決算型Ⅳ(基礎)
26	使用人給与Ⅱ(基礎)	56	グループ法人税制Ⅰ(基礎)
27	特定資産の買換えⅠ(基礎)	57	グループ法人税制Ⅱ(基礎)
28	特定資産の買換えⅡ(基礎)	58	資産の評価損益(基礎)
29	外国税額控除Ⅰ(基礎)	59	保険料(基礎)
30	外国税額控除Ⅱ(基礎)	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	固定資産Ⅰ①(基礎編)
	2	固定資産Ⅰ②(基礎編)
	3	固定資産Ⅰ③(基礎編)
	4	固定資産Ⅰ④(基礎編)
	5	ソフトウェアⅠ①(基礎編)
	6	ソフトウェアⅠ②(基礎編)
	7	ソフトウェアⅠ③(基礎編)
	8	債権債務Ⅰ①(基礎編)
	9	債権債務Ⅰ②(基礎編)
	10	貸倒れⅠ①(基礎編)
	11	貸倒れⅠ②(基礎編)
	12	退職給付会計Ⅰ①(基礎編)
	13	退職給付会計Ⅰ②(基礎編)
	14	退職給付会計Ⅰ③(基礎編)
	15	退職給付会計Ⅰ④(基礎編)
	16	税金Ⅰ①(基礎編)
	17	税金Ⅰ②(基礎編)
	18	社債Ⅰ①(基礎編)
	19	社債Ⅰ②(基礎編)
	20	社債Ⅰ③(基礎編)
	21	社債Ⅰ④(基礎編)
	22	純資産会計Ⅰ①(基礎編)
	23	純資産会計Ⅰ②(基礎編)
	24	純資産会計Ⅰ③(基礎編)
	25	純資産会計Ⅰ④(基礎編)
	26	有価証券Ⅰ①(基礎編)
	27	有価証券Ⅰ②(基礎編)
	28	有価証券Ⅰ③(基礎編)
	29	有価証券Ⅰ④(基礎編)
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①(基礎)
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②(基礎)
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③(基礎)
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④(基礎)
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤(基礎)
	6	分配可能額①(基礎)
	7	分配可能額②(基礎)
	8	分配可能額③(基礎)
	9	分配可能額④(基礎)
	10	分配可能額⑤(基礎)
	11	ストック・オプション①(基礎)
	12	ストック・オプション②(基礎)
	13	ストック・オプション③(基礎)
	14	ストック・オプション④(基礎)
	15	ストック・オプション⑤(基礎)
	16	セール＆リースバック①(基礎)
	17	セール＆リースバック②(基礎)
	18	セール＆リースバック③(基礎)
	19	セール＆リースバック④(基礎)
	20	セール＆リースバック⑤(基礎)
	21	財務諸表等規則①(基礎)
	22	財務諸表等規則②(基礎)
	23	財務諸表等規則③(基礎)
	24	財務諸表等規則④(基礎)
	25	財務諸表等規則⑤(基礎)
	26	負債①(基礎)
	27	負債②(基礎)
	28	負債③(基礎)
	29	負債④(基礎)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)①
	2	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)②
	3	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)③
	4	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
	5	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
	6	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)
	7	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)
	8	課税標準①(初級編)
	9	課税標準②(初級編)
	10	課税標準③(初級編)
	11	課税標準④(初級編)
	12	課税標準⑤(初級編)
	13	課税標準⑥(初級編)
	14	課税標準⑦(初級編)
	15	課税標準⑧(初級編)
	16	簡易課税制度①(初級編)
	17	簡易課税制度②(初級編)
	18	簡易課税制度③(初級編)
	19	簡易課税制度④(初級編)
	20	簡易課税制度⑤(初級編)
	21	簡易課税制度⑥(初級編)
	22	簡易課税制度⑦(初級編)
	23	簡易課税制度⑧(初級編)
	24	簡易課税制度⑨(初級編)
	25	簡易課税制度⑩(初級編)
	26	簡易課税制度⑪(初級編)
	27	簡易課税制度⑫初級編)
	28	簡易課税制度⑬(初級編)
	29	簡易課税制度⑭(初級編)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）①
	2	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）②
	3	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）③
	4	上場株式（権利落等）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）①
	5	上場株式（権利落等）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）②
	6	宅地等の評価単位（基礎）等（基礎）①
	7	宅地等の評価単位（基礎）等（基礎）②
	8	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）①
	9	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）②
	10	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）①
	11	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）②
	12	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）①
	13	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）②
	14	贈与税が課税される場合（基礎）等①
	15	贈与税が課税される場合（基礎）等（基礎）②
	16	負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎）①
	17	負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎）②
	18	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）①
	19	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）②
	20	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）①
	21	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）②
	22	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）①
	23	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）②
	24	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）①
	25	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）②
	26	不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎）①
	27	不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎）②
	28	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）①
	29	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）②
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必須	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**設立事業年度(応用)①**
	2	**設立事業年度(応用)②**
	3	**設立事業年度(応用)③**
	4	**組織再編税制(応用)①**
	5	**組織再編税制(応用)②**
	6	**工事の請負(応用)①**
	7	**工事の請負(応用)②**
	8	**修正申告(応用)①**
	9	**修正申告(応用)②**
	10	**税効果会計(応用)①**
	11	**税効果会計(応用)②**
	12	**賃上げ・投資促進税制(応用)①**
	13	**賃上げ・投資促進税制(応用)②**
	14	**スピンオフ税制(応用)①**
	15	**スピンオフ税制(応用)②**
	16	**特定同族会社の特別税率(応用)①**
	17	**特定同族会社の特別税率(応用)②**
	18	**適用除外事業者(応用)①**
	19	**適用除外事業者(応用)②**
	20	**地方法人税(応用)①**
	21	**地方法人税(応用)②**
	22	**外国子会社配当(応用)①**
	23	**外国子会社配当(応用)②**
	24	**借地権等(応用)①**
	25	**借地権等(応用)②**
	26	**償還差損益(応用)①**
	27	**償還差損益(応用)②**
	28	**未収還付税金(応用)①**
	29	**未収還付税金(応用)②**
	30	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理実務	
実務家教員	○	
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールと業務内容の理解ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務家教員･･･経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務	
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム
	2	小切手・手形の実務上のポイント
	3	入出金伝票と現金出納帳
	4	当座預金出納帳と手形記入帳
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①
	7	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②
	8	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③
	9	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④
	10	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤
	11	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥
	12	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①
	13	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②
	14	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③
	15	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①
	16	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②
	17	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③
	18	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	19	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	20	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③
	21	個人住民税の徴収及び納付①
	22	個人住民税の徴収及び納付②
	23	印紙税の基礎知識
	24	受取利息の会計処理
	25	消費税法の概要①
	26	消費税法の概要②
	27	消費税の会計処理
	28	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	29	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員	○	
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務家教員･･･経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務	
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	13	労働保険の概要及び会計処理①
	14	労働保険の概要及び会計処理②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	90時間
授業回数	45回
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身につく」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	外貨建会計①	31	消費税法⑥
2	外貨建会計②	32	消費税法⑦
3	外貨建会計③	33	消費税法⑧
4	外貨建会計④	34	消費税法⑨
5	リース取引①	35	消費税法⑩
6	リース取引②	36	法人税法①
7	リース取引③	37	法人税法②
8	リース取引④	38	法人税法③
9	キャッシュ・フロー計算書①	39	法人税法④
10	キャッシュ・フロー計算書②	40	法人税法⑤
11	キャッシュ・フロー計算書③	41	法人税法⑥
12	キャッシュ・フロー計算書④	42	法人税法⑦
13	キャッシュ・フロー計算書⑤	43	法人税法⑧
14	キャッシュ・フロー計算書⑥	44	法人税法⑨
15	税効果会計①	45	確認テスト
16	税効果会計②		
17	税効果会計③		
18	税効果会計④		
19	税効果会計⑤		
20	税効果会計⑥		
21	退職給付会計①		
22	退職給付会計②		
23	退職給付会計③		
24	退職給付会計④		
25	退職給付会計⑤		
26	消費税法①		
27	消費税法②		
28	消費税法③		
29	消費税法④		
30	消費税法⑤		

成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITパスポート基礎
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	2年次
開講区分	通年
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	90時間
授業回数	45回
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	企業活動①	31	ソフトウェア①
2	企業活動②	32	ソフトウェア②
3	法務①	33	ハードウェア
4	法務②	34	ヒューマンインターフェース
5	経営戦略マネジメント①	35	マルチメディア
6	経営戦略マネジメント②	36	データベース①
7	技術戦略マネジメント①	37	データベース②
8	技術戦略マネジメント②	38	データベース③
9	ビジネスインダストリ①	39	ネットワーク①
10	ビジネスインダストリ②	40	ネットワーク②
11	システム戦略①	41	ネットワーク③
12	システム戦略②	42	セキュリティ①
13	システム企画①	43	セキュリティ②
14	システム企画②	44	セキュリティ③
15	システム開発技術①	45	確認テスト
16	システム開発技術②		
17	ソフトウェア開発管理技術①		
18	ソフトウェア開発管理技術②		
19	プロジェクトマネジメント		
20	サービスマネジメント①		
21	サービスマネジメント②		
22	システム監査①		
23	システム監査②		
24	基礎理論①		
25	基礎理論②		
26	アルゴリズムとプログラミング①		
27	アルゴリズムとプログラミング②		
28	コンピュータ構成要素①		
29	コンピュータ構成要素②		
30	システム構成要素		

成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と復習演習を行い、知識定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート応用	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方をを問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITパスポート総まとめ①
	2	ITパスポート総まとめ②
	3	ITパスポート総まとめ③
	4	ITパスポート総まとめ④
	5	ITパスポート総まとめ⑤
	6	ITパスポート総まとめ⑥
	7	ITパスポート総まとめ⑦
	8	ITパスポート総まとめ⑧
	9	ITパスポート総まとめ⑨
	10	ITパスポート総まとめ⑩
	11	ITパスポート総まとめ⑪
	12	ITパスポート総まとめ⑫
	13	ITパスポート総まとめ⑬
	14	ITパスポート総まとめ⑭
	15	ITパスポート総まとめ⑮
	16	ITパスポート総合問題対策①
	17	ITパスポート総合問題対策②
	18	ITパスポート総合問題対策③
	19	ITパスポート総合問題対策④
	20	ITパスポート総合問題対策⑤
	21	ITパスポート総合問題対策⑥
	22	ITパスポート総合問題対策⑦
	23	ITパスポート総合問題対策⑧
	24	ITパスポート総合問題対策⑨
	25	ITパスポート総合問題対策⑩
	26	ITパスポート総合問題対策⑪
	27	ITパスポート総合問題対策⑫
	28	ITパスポート総合問題対策⑬
	29	ITパスポート総合問題対策⑭
	30	ITパスポート総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	2年次
開講区分	通年
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	90時間
授業回数	45回
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける
教科書	外販テキスト
特記	

授業計画

1	販売員の役割①	31	商業集積④
2	販売員の役割②	32	商業集積⑤
3	販売員の役割③	33	商業集積⑥
4	販売員の法廷知識①	34	小売業のマーケティング①
5	販売員の法廷知識②	35	小売業のマーケティング②
6	販売員の法廷知識③	36	小売業のマーケティング③
7	小売業の計数管理①	37	小売業のマーケティング④
8	小売業の計数管理②	38	小売業のマーケティング⑤
9	小売業の計数管理③	39	小売業のマーケティング⑥
10	店舗管理①	40	顧客満足経営①
11	店舗管理②	41	顧客満足経営②
12	店舗管理③	42	顧客満足経営③
13	店舗管理④	43	顧客満足経営④
14	店舗管理⑤	44	顧客満足経営⑤
15	店舗管理⑥	45	確認テスト
16	流通における小売業①		
17	流通における小売業②		
18	流通における小売業③		
19	流通における小売業④		
20	流通における小売業⑤		
21	流通における小売業⑥		
22	組織形態別小売業①		
23	組織形態別小売業②		
24	組織形態別小売業③		
25	店舗形態別小売業①		
26	店舗形態別小売業②		
27	店舗形態別小売業③		
28	商業集積①		
29	商業集積②		
30	商業集積③		

成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識応用
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	90時間
授業回数	45回
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身につける
教科書	外販テキスト
特記	

授業計画				
	1	証券の設定と出店①	31	商品計画①
	2	証券の設定と出店②	32	商品計画②
	3	証券の設定と出店③	33	商品計画③
	4	リージョナルプロモーション①	34	販売計画及び仕入れ計画①
	5	リージョナルプロモーション②	35	販売計画及び仕入れ計画②
	6	リージョナルプロモーション③	36	販売計画及び仕入れ計画③
	7	顧客志向型売り場づくり①	37	価格設定①
	8	顧客志向型売り場づくり②	38	価格設定②
	9	顧客志向型売り場づくり③	39	価格設定③
	10	ストアオペレーション①	40	在庫管理①
	11	ストアオペレーション②	41	在庫管理②
	12	ストアオペレーション③	42	在庫管理③
	13	ストアオペレーション④	43	販売管理①
	14	ストアオペレーション⑤	44	販売管理②
	15	ストアオペレーション⑥	45	確認テスト
	16	梱包技術①		
	17	梱包技術②		
	18	梱包技術③		
	19	ディスプレイ①		
	20	ディスプレイ②		
	21	ディスプレイ③		
	22	商品①		
	23	商品②		
	24	商品③		
	25	マーチャンダイジング①		
	26	マーチャンダイジング②		
	27	マーチャンダイジング③		
	28	マーチャンダイジング④		
	29	マーチャンダイジング⑤		
	30	マーチャンダイジング⑥		

成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	マーケティングと顧客満足
	2	マーケティング分析方法①
	3	マーケティング分析方法②
	4	マーケティングと財務知識①
	5	マーケティングと財務知識②
	6	マーケティングと財務知識③
	7	マーケティングと財務知識④
	8	マーケティング手法①
	9	マーケティング手法②
	10	確認テスト
	11	事例から学ぶマーケティング①
	12	事例から学ぶマーケティング②
	13	事例から学ぶマーケティング③
	14	事例から学ぶマーケティング④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤
	16	事例から学ぶマーケティング⑥
	17	事例から学ぶマーケティング⑦
	18	事例から学ぶマーケティング⑧
	19	事例から学ぶマーケティング⑨
	20	事例から学ぶマーケティング⑩
	21	マーケティング演習①
	22	マーケティング演習②
	23	マーケティング演習③
	24	マーケティング演習④
	25	マーケティング演習⑤
	26	マーケティング演習⑥
	27	マーケティング演習⑦
	28	マーケティング演習⑧
	29	マーケティング演習⑨
	30	マーケティング演習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員	○	
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記	実務経験ある職員の授業	
授業計画	1	企画作成①
	2	企画作成②
	3	企画作成③
	4	企画作成④
	5	企画作成⑤
	6	中間発表①
	7	中間発表②
	8	企画のブラッシュアップ①
	9	企画のブラッシュアップ②
	10	企画のブラッシュアップ③
	11	企画のブラッシュアップ④
	12	企画のブラッシュアップ⑤
	13	企画のブラッシュアップ⑥
	14	企画のブラッシュアップ⑦
	15	企画のブラッシュアップ⑧
	16	オンラインプレゼン方法①
	17	オンラインプレゼン方法②
	18	オンラインプレゼン方法③
	19	企画のブラッシュアップ⑨
	20	企画のブラッシュアップ⑩
	21	企画のブラッシュアップ⑪
	22	企画のブラッシュアップ⑫
	23	企画のブラッシュアップ⑬
	24	企画のブラッシュアップ⑭
	25	企画のブラッシュアップ⑮
	26	企画のブラッシュアップ⑯
	27	企画発表（校内）①
	28	企画発表（校内）②
	29	企画発表（企業向け）①
	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	店舗データの理解①
	2	店舗データの理解②
	3	マーケティングの流れ①
	4	マーケティングの流れ②
	5	売上構成分析①
	6	売上構成分析②
	7	来店客分析①
	8	来店客分析②
	9	商品分析①
	10	商品分析②
	11	費用分析①
	12	費用分析②
	13	課題抽出①
	14	課題抽出②
	15	アンケート調査分析①
	16	アンケート調査分析②
	17	企画作成①
	18	企画作成②
	19	企画作成③
	20	企画作成④
	21	様々なマーケティング①
	22	様々なマーケティング②
	23	プレ卒業研究①
	24	プレ卒業研究②
	25	プレ卒業研究③
	26	プレ卒業研究④
	27	プレ卒業研究⑤
	28	プレ卒業研究⑥
	29	プレ卒業研究⑦
	30	プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員	○	
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英語
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	60時間
授業回数	30コマ
授業概要	英文法の基本事項を学習し、読解力も身につけながら、ビジネスシーンで必要となる基礎英語を中心に学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	身近な話題について英語でのコミュニケーション力を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	①英語の原則	31	
2	①英語の原則	32	
3	①各品詞の役割	33	
4	①英語のしくみ	34	
5	①付加疑問文・感嘆文・命令文	35	
6	①第5文型（O=S、C=Vのパターン））	36	
7	①前置詞	37	
8	①基本時制、変化形	38	
9	①平叙文、基本時制、変化形の再確認	39	
10	①状態動詞、動作動詞について	40	
11	①5文型、文の要素など	41	
12	①助動詞　②have to と mustの違いにつ	42	
13	①5W1Hについて	43	
14	リスニング①	44	
15	①序数について　②分数について	45	
16	①形容詞節についての復習	46	
17	リスニング②	47	
18	①単数のものを指すのに、複数形の名詞な	48	
19	①先行詞の復習	49	
20	リスニング③	50	
21	①単複同形の名詞などについて	51	
22	①第5文型（OがS、CがVの関係）	52	
23	リスニング④	53	
24	①発音記号の読み方	54	
25	①厳密なS＝Cの関係が条件	55	
26	①基本時制を確認後、変化形を調べる	56	
27	①動名詞や分詞について	57	
28	①関係詞について	58	
29	①比較、形容詞の語順について	59	
30	確認テスト	60	

成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話基礎	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	販売接客に関連する基本的な英会話の事例を元に学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	場面別英会話
	2	場面別英会話
	3	場面別英会話
	4	場面別英会話
	5	場面別英会話
	6	場面別英会話
	7	場面別英会話
	8	場面別英会話
	9	場面別英会話
	10	場面別英会話
	11	場面別英会話
	12	場面別英会話
	13	場面別英会話
	14	場面別英会話
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	体育	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０コマ	
授業概要	体育の総合演習を通して、実技及び理論の学習を行うとともに、スポーツを通した運動の意義	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な事故の体育能力の把握とその維持増進	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	スポーツの概念と歴史
	3	スポーツとは何かーその発生と展開
	4	各種スポーツの理解と安全
	5	各種スポーツの実践①
	6	各種スポーツの実践②
	7	各種スポーツの実践③
	8	各種スポーツの実践④
	9	各種スポーツの実践⑤
	10	初歩動作から一人すべり　スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー
	11	八の字から連続回転
	12	連続回転からパラレル
	13	パラレルターン　リズム・タイミング・コース取り
	14	八の字と平行を組み合わせるⅠ
	15	八の字と平行を組み合わせるⅡ
	16	スキーを揃えて滑る　整地・コブ斜面
	17	リズム変化　状況対応能力の強化Ⅰ
	18	リズム変化　状況対応能力の強化Ⅱ
	19	リズム変化　スピード・不整地の対応Ⅰ
	20	リズム変化　スピード・不整地の対応Ⅱ
	21	バッジテスト
	22	初歩動作から一人すべり　スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー
	23	ノーズドロップからの停止（ターンと停止）
	24	ターンの形、サイズ変更の基礎
	25	ターンの形、サイズ変更の応用
	26	リズム変化　斜度変化Ⅰ
	27	リズム変化　斜度変化Ⅱ
	28	リズム変化　スピード・不整地の対応Ⅰ
	29	リズム変化　スピード・不整地の対応Ⅱ
	30	バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学総論	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０コマ	
授業概要	ヒト・モノ・カネ等の資源を集め、消費者に受け入れられる製品を生産するため、企業がいか	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業の仕組みや組織戦略などを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	アメリカ経営学説①
	3	アメリカ経営学説②
	4	アメリカ経営学説③
	5	組織構造論①
	6	組織構造論②
	7	組織構造論③
	8	組織文化論①
	9	組織文化論②
	10	組織文化論③
	11	コンフリクト論①
	12	コンフリクト論②
	13	動機付け理論①
	14	動機付け理論②
	15	リーダーシップ理論①
	16	リーダーシップ理論②
	17	確認テスト
	18	経営戦略論の基礎概念
	19	多角化戦略
	20	国際化戦略
	21	競争戦略①
	22	競争戦略②
	23	経営戦略の展開方式①
	24	経営戦略の展開方式②
	25	技術経営①
	26	技術経営②
	27	経営戦略論の学説史
	28	日本経営と日本の企業グループ
	29	コーポレートガバナンス論
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		